

令和5年度第2回香川県教育センター運営協議会 議事録

【日 時】 令和6年3月 11 日(月)13:30～14:30

【場 所】 香川県教育センター 4階第2中研修室

【出席者】 委員11名、センター所長外4名

※傍聴人 無し

【議事概要】令和5年度事業について

【主な質疑応答】

○調査研究事業について

質疑等無し

○教職員研修事業について

委員	集合研修のよさとオンライン研修のよさと、両方あると思う。学生に聞くと、同じような状況にある同僚たちの声を聞きたいという意見もあるが、時間等の問題もある。オンラインを通じて、手続き等もそうだが、簡素化できる部分は簡素化を進めていただきたい。
委員	研修の満足度について、数値で評価しているが、それだけではわからない部分もあるのではないか。
事務局	アンケートには、数値だけではなく意見を記述する部分もあり、そこに何が書かれているかを重視して、改善等にもつなげている。

○教育相談事業について

委員	メール相談の件数が減少しているが、何か理由はあるのか。文章で証拠を残すのを嫌うという風潮があり、シビアな相談の場合は電話でだけ話して直接会って相談することを希望するとか、あるいはいきなり相談に来るといった事もあるのではないかな。そういうのを許容できる相談体制は取れているのか。
事務局	メール件数については、はっきりとした原因は把握できないが、センターの相談の対象がおおむね 18 歳までのため、学年進行で卒業したり、問題解決されたりと様々な原因があるのではないかと考えている。 来所相談については、事前予約制としており、現在のところは十分に対応できている。

○カリキュラムセンター事業について

委員	学びの支援隊事業について、予算が削減されてきているとのことだが、事業の効果、また来年度の予算状況はどうか。
事務局	事業については、非常に効果的とのアンケート結果をいただいている。 この事業は、教育センターではなく義務教育課で予算措置しており、センターはその運営の部分だけを担っている。また、各市町教育委員会でも同様の事業を拡充している。

○その他

委員	教員の研修について、やはり大きく変わってきているという印象は現場でもある。 通常の研修を充実したうえで、それ以外にも個人の好みに応じた研修も必要になるのではないかと。また、提供の仕方についても、対面なのかオンデマンドなのか。これはなかなか大変なことだと思うが、教育センターにおいてはシンクタンクとして、人的スタッフも含めて充実していったほしい。
事務局	研修の充実については、来年度から文科省が開発した研修システム、プラントの方に、研修コンテンツが 300 くらい掲載されているとのことである。我々の課題を解決してくれる内容になっているかはまだわからないが、我々がそこにコンテンツを載せることも可能なので、そういったものも活用して要望に応えられるものにしていきたい。